

## ■新連載 コメディカルを紹介します[1]

このコーナーでは本院の医療スタッフの役割を順次、紹介します。

### 外来看護師・病棟看護師

外来を担当する看護師は診療がスムーズに受けられるよう、診察室などの環境や受診に臨む患者さんへの配慮を行い、さらに通院または退院した患者さんが、日常生活を快適に維持するための療養指導を行います。病棟看護師は、入院する患者さんに対し、安全で安心な医療や看護を提供します。適切な医療が受けられ、疾患に伴う副作用を軽減できるよう医師や技師などと協働し、患者さんを中心とするチーム医療を推進しています。

\*なお、本院の看護師のユニフォームはこの2種だけでなく、手術部、地域医療連携センターなど、順次掲載いたします



外来看護師

病棟看護師

■休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3)  
 ■初診受付時間 8:30-11:00(窓口)  
 ■再診受付時間 8:15-17:00(自動再来受付機)・8:20-17:00(窓口)  
 ■外来玄関開閉時間 7:30-18:00

## ■外来診療日一覧

### ■外来診療棟

階	診療科名	初診日	再診日
4階/西	心療内科 TEL 642-5335	月・木	火・水・金
	呼吸器科 TEL 642-5388	月・水・金	月・火・水・金
	■外科 ◎消化管外科(1)◎胆道・脾臓・膵臓移植・腎臓移植外科 ◎呼吸器外科(1)◎乳癌外科(1) ◎内分泌外科 TEL 642-5453	火・木	火・木
	■外科 ◎消化管外科(2)◎肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 ◎呼吸器外科(2)◎乳癌外科(2) ◎血管外科 TEL 642-5479	月・水・金	月・水・金
4階/東	産科婦人科 TEL 642-5409	月・金	月・金
4階/東2	ペインクリニック(麻酔科併設) TEL 642-5719	月・火・水・金	月・金
4階/東2	再生歯科・インプラントセンター TEL 642-6361	月・金	月・金
3階/西	■内科 ◎血液・腫瘍内科 ◎免疫・膠原病・感染症内科 ◎消化器内科◎腎・高血圧・脳血管内科◎内分泌代謝・糖尿病内科◎肝臓・膵臓・胆道内科 TEL 642-5302	月・金	月・金
	◎先端分子・細胞治療科 TEL 642-5302	月・金	月・金
3階/東	■ハートセンター外来 ①循環器内科②血液・腫瘍内科 TEL 642-5371	①月・木 ②火・金	①月・水 ②火・金
	③心臓血管外科 TEL 642-5565	③月・水・木	③水・木
	皮膚科 TEL 642-5597	月・水・金	火・木
3階/東	耳鼻咽喉・頭頸部外科 TEL 642-5681	火・木	月・水・金

※赤色の曜日は予約が必要です。 ※電話予約受付時間14:00-16:00 予約に関するお問い合わせは、各診療科外来へ直接お電話ください(市外局番は「092」です)。  
 ※再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となり、紹介状をお持ちでない方は治療費とは別に保険外併用療養費として3,150円が必要となることがあります。あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。

### 外来患者さんへ

◎本院のお業は原則として「院外処方」としています。「院外処方せん発行」にご協力ください。  
 ◎外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので、できるだけ公共の交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

### ■本院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

### ■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- ①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ②プライマリ・ケア診療の充実
- ③全人的医療が可能な医療人の養成
- ④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ⑤国際化の推進



九州大学病院  
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

TEL 092-641-1151[代表] 092-642-5163[問診受付]  
 〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号  
 (ホームページ) <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>

携帯電話からも九州大学病院ホームページの診療案内・診療日案内・交通案内が閲覧できます。

九州大学病院 広報委員会発行

# 九大病院だより

Public Relations Magazine of Kyushu University Hospital 2011.3



九州大学病院

KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

第43号  
平成23年3月

## ■別府先進医療センターでの放射線治療

九州大学病院別府先進医療センター(本年4月より、九州大学病院別府病院と名称が変わります)では、平成21年3月に最新の放射線治療装置(リニアック)を導入し、高精度放射線治療を行っています。

新型のリニアックでは、患者さんの位置を把握して正確に照射できる画像誘導放射線治療、正常組織に対する被ばく量を低減できる強度変調放射線治療(IMRT)、ピンポイントに放射線量を集中する体幹部定位放射線治療などの高精度放射線治療を実施しています。



これらの最先端の治療技術は、前立腺がん、肺がんなどに威力を発揮しており、大分県下の多くの病院から患者さんの紹介を受けています。前立腺がんでは従来より多くの放射線量を安全に投与でき、肺がんの定位放射線治療では高い局所コントロールが得られ、正確で安全、高い治療成績をあげています。

別府先進医療センターは、桜の名所としても知られており、眼下に別府湾が広がり、鶴見岳を仰ぎ見ることができる、とても美しい病院です。院内のお風呂はもちろん温泉で、入院しながら、温泉プールを利用したりハビリテーションを受けることもできます(病床数140)。

福岡からはJR特急で約2時間、ぜひ九州大学病院別府先進医療センターでの治療もご検討ください。



お問い合わせ ◎別府先進医療センター 放射線科 TEL 0977-27-1600(代表)

エッセイ  
Essay



### 最先端医療技術の普及

先端医学診療部長

はしづめ まこと  
橋爪 誠

Makoto Hashizume

少子高齢化社会を迎え、ますます高度な医療技術が求められています。一方、医療費の高騰や救急医療現場での医師不足、ドラッグラグやデバイスラグ\*、診療報酬の適正化の問題などが国では医療制度の構造的な社会問題が山積し、海外と比べても最先端医療を患者さんに必ずしも迅速に提供でき

ないでいるのが現状です。

先端医学診療部では各診療科と協力して、患者さんの苦痛が少ない方法で病気を早期に発見し、最小限の傷で安全・確実に治療できる手術支援内視鏡ロボットなどの最先端医療技術を開発しています。また、コンピュータ制御によるナビゲーション治療などの早期導入を実践しています。

さらに、高度医療技術の安全な普及を図るために医師の教育訓練を重視し、全国の医師を対象に内視鏡外科手術トレーニングセミナーを毎月開催しています。受講者数は、平成22年12月時点で1,000人に達しました。

最高の医療を提供するために、全力で不可能を可能にするのが大学病院の務めであると考えています。

\*薬品、医療機器の認可や保険適用が、日本国内では海外での認可よりも遅れていること

▶▶▶ 診療科のご案内 ①

## 咬合補綴科

咬合補綴（ほてつ）科では健康の原点となる口腔の機能を回復することや、笑顔の原点となる歯の美しさを改善する治療を行っています。歯の欠損にはブリッジや義歯だけではなく、インプラントによる機能回復を行い、また、歯の変色にはホワイトニング治療からオールセラミック治療まで対応しています。

特に、咬合補綴科が担当する「審美外来」では、変色歯の治療を客観的な数値で診断し、その結果を患者さんが判りやすいよう説明しています。

治療は薬剤による脱色、歯に塗るマニキュア、セラミックによる根本的な改善治療まで、あらゆる方法で患者さんの十分な満足を得られる治療を目標に行っています。治療前後の歯の色を客観的な数値評価で蓄積し、定期検診によって、一生にわたる一人ひとりの患者さんの歯と口腔の管理を行う努力をしています。



ホワイトニング治療前後の、測色による評価

▶▶▶ 診療科のご案内 ②

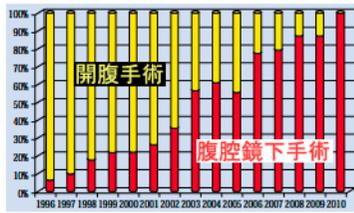
## 消化管外科(1)

上部消化管グループでは食道がん、胃がんなどの手術を中心に抗がん剤治療を含め、総合的な治療を内科、放射線科と密に連携しながら行っています。平成8年から身体に優しい鏡視下手術を取り入れ、患者さんの生活の質（QOL）を保つよう努めてきました。昨年はすべてのがん患者さんを鏡視下手術で治療しています。今後も患者さんに最新最良の医療が届けられるように日々の診療に取り組んでいきます。

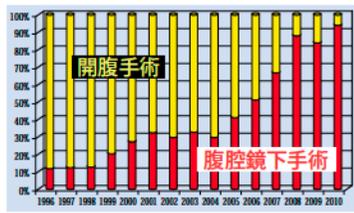
下部消化管グループでは、大腸がんをはじめ消化管間葉系腫瘍（GIST）や悪性リンパ腫などの腫瘍とクローン病や潰瘍性大腸炎な

どの炎症性腸疾患、腸管せんこう（穴があくこと）・閉塞など緊急を要する病気に、消化器外科専門医が診療を行っています。

消化管内科と血液・腫瘍内科と協力し、つねに患者さんに最良の治療法を選択し、大腸がんなど多くの病気に、患者さんに負担の少ない腹腔鏡下手術を行っています。



胃がん手術の腹腔鏡下手術の割合



大腸がん手術の腹腔鏡下手術の割合

## 花粉症 —花粉を吸わない工夫を！—

花粉症は、花粉が原因となってくしゃみ、鼻水、鼻づまり、眼のかゆみといった症状が出る病気です。最近では、スギやヒノキ花粉だけでなく、ブタクサ、カモガヤといった雑草花粉症を発症する患者さんも増加しています。花粉症は、誰でも発症する可能性があり、一度発症してしまうと治りにくいので、まだ発症していない方も、関心をもって対応することが重要です。

では、花粉症が発症しない予防法や、花粉症の症状を軽くするにはどんな方法があるのでしょうか？

まず、天気予報やネットを活用して、花粉飛散状況について把握しましょう。特に天気が良く、風の強い日は

花粉が多量に飛ぶ傾向があります。このような日はなるべく、外出は避けましょう。どうしても外出しなければならぬ時は、花粉が付着しにくい服装で、マスク、眼鏡を着用して外出しましょう。また、花粉が飛散している日は、洗濯物を外に干さないようにし、徹底的に花粉を部屋に持ち込まないようにしましょう。

花粉症の症状が出ている方は、どんなに強い花粉症の薬を飲んでいても、花粉を吸い続ければ薬の効果も低減します。まず、花粉症の方もそうでない方も花粉を吸わない、接さないことが重要なのです。

■家庭でできる口腔管理

## こどもの虫歯予防

小児歯科 松石裕美子

生えて間もない乳歯や永久歯はまだ弱く、唾液の成分などを取り込みながら少しずつ硬く強くなっていきます。その間は虫歯になりやすいので、予防が大切です。

- 虫歯の影響  
痛みや穴があると、よく食べ物をかめません。栄養が偏る、アゴの発育が遅くなる、永久歯の成長が妨げられる、歯並びが悪くなるなどの影響がでます。
- 虫歯予防のポイント
  - ①歯をきれいにする  
歯に付いた食べかすは虫歯菌の栄養になります。歯ブラシや糸ようじで汚れを取り除くことが大切です。  
寝ている間は虫歯菌の活動が活発になるので、しっかり歯を磨いてから寝ましょう。
  - ②虫歯菌が好む砂糖を減らす  
おやつを食べ方に注意しましょう。
    - ・時間を決める。
    - ・飲み物（お茶や牛乳）と一緒に食べる。
    - ・砂糖の少ないものを食べる（例：果物、いも、おにぎり、野菜スティック）。
  - ③虫歯になりにくい歯を作る  
フッ素は歯を強くします。
    - ・フッ素入り歯磨き剤を使う（市販されています）。
    - ・フッ素入りうがい薬を使う、フッ素を歯に塗る（歯科医院に相談してください）。



歯と歯の間は虫歯になりやすいので、糸ようじで汚れを取り除きましょう

別府先進医療センターの  
ご紹介

## 看護室



看護室は、「心のかもったケア」や「責任ある看護」を基本に、安心で安全な看護を提供することを理念に掲げています。

看護の現場では、質の高い看護の提供のために、緩和ケア、フットケア、褥瘡ケアの3つの専門領域のケアを提供する3名のナースが診療科の枠を越えて組織横断的に活躍しています。外来のがん化学療法や放射線治療では、専門教育を受けた受け持ち看護師が関わり、患者さんの安心感を高めています。

教育面では、近年は「楽しい感染研修」を心がけ、エプロンに蛍光塗料を塗り、これを汚染に見立てて防護具を外した後の蛍光塗料を見つけるなど、研修方法を工夫しています。感染教育は職員全員で取り組むことを目指し、少しずつ成果を上げています。テーマ別の研修とは別に、看護師としてのスキルアップや意識向上をはかる継続教育として、「ナイチンゲール看護発表会」を行いました。自らの看護を振り返り専門職としての能力の向上に努めています（写真は感染研修中の看護師）。

### 【病院の名称・診療科 が変わります】

本年4月から病院の名称が「別府先進医療センター」から「別府病院」へと変わります。また、診療科も現在の3診療科（内科・外科・放射線科）に、新たに整形外科が加わり4診療科となります。

